

表彰 はがき随筆で「ふくおかナンバーワン」



毎日新聞で毎月募集をしている「はがき随筆」(250文字程度)で、武本ヒサさん(瀬戸)が平成19年12月度の「月間賞」と「ふくおかナンバーワン」の2つの賞を受賞しました。

今回受賞した武本さんのはがき随筆「主人のカーディガン」は、4年前に他界されたご主人、猛さんへの温かい想いが静かに溢れる内容のもので、深い愛情が伝わる作品となっています。

武本さんは4年ほど前からはがき随筆に投稿しており、現在でも次の作品の執筆に取り組んでいます。

健康 食への関心は健康への関心



健康づくりの実践を目指すヘルスサポーター講座(桂川町食生活改善推進会主催)が2月14日、総合福祉センターで開催されました。

定年退職後、東京から桂川町に来た中村寛さん(笹尾1区)も、健康に興味がある参加者の一人。「この講座は自己啓発だけでなく、色んな方とも交流が図れるところが素敵ですね」と中村さん。参加者は健康への気持ちを新たにしました。

寄贈 七言の漢詩で綴る「王塚古墳の詩」



2月14日、交通安全や地域ボランティアなど多方面に活動されている原中富志光さん(寿命区)が、王塚古墳を詠った漢詩を書き落とした作品を桂川町

に寄贈されました。書道八段の原中さんは「体が動く限り、いろんな活動を続けます」と笑顔で語りました。

表彰 桂川町体育指導委員として19年



2月1日(金)・2日(土)に長崎県佐世保市で行われた第50回九州地区体育指導委員研究大会にて桂川町体育指導委員の藤嶋勢津子さんが九州地区体育指導委員功労者の表彰を受賞しました。

桂川町体育指導委員として19年間、持ち前の指導力を活かし桂川町のスポーツの発展、振興に貢献され、その功績が認められたものです。おめでとうございます。

活動 総合学習でゴミ拾いなどを提案



「パー」 「エヘ」

2月6日と8日、桂川小学校の4年生が「総合学習」の中で、様々なボランティアに取り組みました。

小さな子どもたちと触れ合う託児体験や、桂川小学校周辺のゴミ拾いなどを体験。「使える物もたくさん捨てられていた。ちゃんと使ってちゃんと捨てて欲しい」と、ゴミ拾いに参加した松岡律樹くん。みんな素敵な体験ができましたね。



「たくさん拾ってきれいな町になったよ」

催し 客席参加型落語で初笑い



扇子で高座(こうざ)を軽くトンと叩き、キリッと幕を開けた桂三風さんによる新春初笑い(桂川町文化連合会、桂川町教育委員会主催)が1月27日、住民センターで開催されました。

声色を変え、一人で何役もこなす桂三風さんの軽快な落語に、大人だけでなく子どもたちも大笑い。後半では、桂三風さんが編み出したという「客席参加型落語」が披露され、たちまち会場全体が桂三風さんの世界に早変わり。新春にぴったりの初笑いが、会場にこだましていました。

